

応募書類の提出前に必ず確認して下さい。 ※本チェックリストの提出は不要です。

「団体 単体」で応募する場合

令和7年度伝統文化親子教室事業提案書

☐ 提案書（様式1）

☐ 事業計画書（様式2-1）

第1次審査合格要件に関する項目の記載

(※) 満たさない場合、不合格となります。
募集案内p.45「審査基準」をご覧ください。

☐ 分野

☐ 参加者（原則、小学校1年生から中学3年生を対象）

☐ 参加人数（親（同伴者）を除いて10人以上）

☐ 教室開催回数（5回以上）

☐ 教室開催日数（3日以上）

☐ 教室時間（45分以上）

☐ 事業計画書（様式2-2） (※) 文部科学省の「放課後子供教室」と連携した取組がない場合、提出は不要です。

☐ 収支予算書（様式3）

☐ 応募団体（事業者）の概要（様式ア）

☐ 誓約書（様式エ）

その他必要となる資料

☐ 団体規約

☐ 役員名簿

☐ （該当する場合のみ）ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有している場合は、その写し。

※複数の団体で構成する実行委員会用です。

令和7年度
表紙(チェックリスト)「実行委員会」用

応募書類の提出前に必ず確認して下さい。 ※ 本チェックリストの提出は不要です。

複数の団体で構成する「実行委員会」で応募する場合

● 代表団体用

令和7年度伝統文化親子教室事業提案書	
☐ 提案書(様式1)	
☐ ☆事業計画書(様式2-1)	団体分
☐ ☆事業計画書(様式2-2) (※1)	団体分
☐ ☆収支予算書(様式3)	団体分
☐ 応募団体(事業者)の概要(様式ア)	
☐ ☆応募団体(事業者)の概要(様式ア)	団体分
☐ 統括表(様式イ)	
☐ 誓約書(様式エ)	
その他必要となる資料	
☐ 団体規約	
☐ ☆団体規約	団体分
☐ 役員名簿	
☐ ☆役員名簿	団体分
☐ (該当する場合のみ)ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有している場合は、その写し。	

※1 文部科学省の「放課後子供教室」と連携した取組を行う構成団体についてのみ、提出してください。

☆印のある書類は、構成団体についてチェックのうえ、団体数を記載してください。

● 構成団体用

令和7年度伝統文化親子教室事業提案書	
☐ 事業計画書(様式2-1)	
第1次審査合格要件に関する項目の記載	(※)満たさない場合、不合格となります。 募集案内p.45「審査基準」をご覧ください。
☐ 分野	
☐ 参加者(原則、小学校1年生から中学3年生を対象)	
☐ 参加人数(親(同伴者)を除いて10人以上)	
☐ 教室開催回数(5回以上)	
☐ 教室開催日数(3日以上)	
☐ 教室時間(45分以上)	
☐ 事業計画書(様式2-2) (※2)	
☐ 収支予算書(様式3)	
☐ 応募団体(事業者)の概要(様式ア)	
その他必要となる資料	
☐ 団体規約	
☐ 役員名簿	
☐ (該当する場合のみ)ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有している場合は、その写し。	

※2 文部科学省の「放課後子供教室」と連携した取組がない場合、提出は不要です。

令和 6 年 月 日

株式会社KBC
伝統文化親子教室事業 事務局殿

団 体 名
郵便番号 〒
団体所在地

代表者職名
代表者氏名 (印省略)

※規約・定款等に記載されている団体名・郵便番号・団体所在地・代表者職名・代表者氏名を正確に記入してください。
※代表者氏名は本名で記入してください。芸名・雅号は不可。
流派の代表者（家元等）ではなく、事業を実施する際の責任者を代表として記入してください。

令和7年度伝統文化親子教室事業（教室実施型）提案書

令和7年度伝統文化親子教室事業（教室実施型）について、実施したいので、募集案内の内容に同意したうえで、関係書類を添えて下記のとおり提案します。

記

事業の名称	※事業の名称には、特定の流派名、団体名、又は商品名等を冠に付けないでください。
事業の着手及び完了の予定期日	着手 令和7年度伝統文化親子教室事業に係る第1次審査合格日 完了 令和 年 月 日 ※完了の予定期日は、令和8年1月31日までの日付で記入してください。
委託経費の要望額	円 ※収支予算書（様式3）の「収入の部」の「本事業による委託経費の要望額（B）」に記載した金額を記入してください。

- ☐ 当団体は、教室を実施する施設の指定管理者ではありません。
※応募要件を満たす団体であっても、公的施設の指定管理者としての応募は不可
- ☐ 伝統文化親子教室事業（地域展開型）への応募も検討しています。
※募集案内9ページ「5. 要望額（教室規模に応じた上限額）」、6ページ「■参加人数」参照

<事務担当者連絡先>		<代表者連絡先>
氏 名		
連絡先（TEL）		
〃（FAX）		
〃（Eメールアドレス）		
書類等の 郵送先	郵便番号 〒	〒
	住 所	
その他（日中連絡先）		
審査結果等の送付先 ※事務担当者/代表者のどちらか希望する方に「○」を記入		

※事務担当者は、必ず連絡先電話番号のほか、FAX 又は添付ファイルの送受信が可能な Eメールアドレスを持っている方を選任してください。

＜事業計画書＞

※申請（第2次審査）時に記載

応募（第1次審査）・申請（第2次審査）団体コード

事業の名称																										
伝 統 文 化 親 子 教 室																										
分 野 該当する分野を 全て○枠で囲い、 分野別に開催回数を 記入してください。	イ. 神楽	回	ロ. 獅子舞	回	ハ. お囃子	回	ニ. イ〜ハ以外の 民俗芸能	回																		
	ホ. 祭り行事	回	ヘ. 民謡・民舞	回	ト. 和太鼓	回	チ. 能楽	回																		
	リ. 邦楽	回	ヌ. 邦舞 ・日本舞踊	回	ル. 伝統工芸	回	ヲ. 百人一首 ・カルタ	回																		
	ワ. 囲碁	回	カ. 将棋	回	ヨ. 華道	回	ク. 茶道	回																		
	レ. 書道	回	リ. 武道	回	ヰ. 和装 ・礼法	回	ネ. 食文化 ・郷土料理	回																		
	ナ. 上記以外 の分野	回	発表会・大会	回																						
	内容を記載（ニ, ナを選んだ場合）【																									
複数分野を選択した 場合、その付随・関 連理由																										
開催場所 施設名、地名等を 具体的に記入してくだ さい。	教室		発表会・大会																							
参加者 募集対象とするものを 全て○枠で囲ってくだ さい。	幼稚園・保育園		小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年																	
	中学校	1年	2年	3年	高等学校	1年	2年	3年	障害のある子供																	
募集する 子供の人数	全体で 人 ※親等の保護者の人数は含めないでください。																									
	参加者を複数グループに分けて教室を開催する場合は内訳を記載 【 人 × グループ 】																									
対象 事業に係る 地域性のある 伝統文化等 の概要	(1)	対象分野			名称																					
		文化財指定の有無 ※どちらかを○枠で囲ってください。	有	無	指定名																					
		由来、歴史 (何時頃から行われているのか)																								
	(2)	対象分野			名称																					
		文化財指定の有無 ※どちらかを○枠で囲ってください。	有	無	指定名																					
		由来、歴史 (何時頃から行われているのか)																								
	(3)	対象分野			名称																					
		文化財指定の有無 ※どちらかを○枠で囲ってください。	有	無	指定名																					
		由来、歴史 (何時頃から行われているのか)																								
	＜事業目的＞ ※教室の事業目的と一致する項目を全て○枠で囲ってください。 項目1〜5以外に目的がある場合は、項目6から順番に○枠で囲い、事業目的欄に簡潔に記入してください。	<table><tr><th>項目</th><th>事業目的</th></tr><tr><td>1. 伝統文化等の継承</td><td>地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることを目的とする</td></tr><tr><td>2. 伝統文化等への関心</td><td>伝統文化等への関心を高めることを目的とする</td></tr><tr><td>3. 豊かな人間性の 涵養（かんよう）</td><td>子どもたちの豊かな心や感性、創造性をはぐくむことを目的とする</td></tr><tr><td>4. 伝統文化等への 親の関心</td><td>親の伝統文化等への関心を高めることで、子供たちの個性や能力の発見や、伝統文化を理解する機会の増加を目的とする</td></tr><tr><td>5. 周辺地域の関係</td><td>子どもたちが地域住民と関わることで地域とのつながりを強化することを目的とする</td></tr><tr><td>6. その他①</td><td></td></tr><tr><td>7. その他②</td><td></td></tr></table>									項目	事業目的	1. 伝統文化等の継承	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることを目的とする	2. 伝統文化等への関心	伝統文化等への関心を高めることを目的とする	3. 豊かな人間性の 涵養（かんよう）	子どもたちの豊かな心や感性、創造性をはぐくむことを目的とする	4. 伝統文化等への 親の関心	親の伝統文化等への関心を高めることで、子供たちの個性や能力の発見や、伝統文化を理解する機会の増加を目的とする	5. 周辺地域の関係	子どもたちが地域住民と関わることで地域とのつながりを強化することを目的とする	6. その他①		7. その他②	
		項目	事業目的																							
		1. 伝統文化等の継承	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることを目的とする																							
2. 伝統文化等への関心		伝統文化等への関心を高めることを目的とする																								
3. 豊かな人間性の 涵養（かんよう）		子どもたちの豊かな心や感性、創造性をはぐくむことを目的とする																								
4. 伝統文化等への 親の関心		親の伝統文化等への関心を高めることで、子供たちの個性や能力の発見や、伝統文化を理解する機会の増加を目的とする																								
5. 周辺地域の関係		子どもたちが地域住民と関わることで地域とのつながりを強化することを目的とする																								
6. その他①																										
7. その他②																										

<事業計画書>

※申請（第2次審査）時に記載

応募（第1次審査）・申請（第2次審査）団体コード

事業内容

<事業の目標及び事業の見込まれる効果等>

※事業の目標と見込まれる事業効果に一致する項目を全て○枠で囲ってください。○枠で囲った事業の目標において、その他に見込まれる事業効果がある場合は、（その他）欄に簡潔に記入してください。
項目1～5以外に、事業の目標と見込まれる事業効果がある場合は、項目6から順番に○枠で囲い、簡潔に記入してください。

事業の目標	見込まれる事業効果
1. 行事への参加または親へのお披露目（1回以上）	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることに繋がる（その他）
2. 子供たちのアンケートで「伝統文化等に興味・関心をもつ」が全体の80%とする	身近に伝統文化等を感じることができ、日本文化に興味・関心をもつことに繋がる（その他）
3. 一連の流れが理解できる日程の実施（5回かつ3日以上）	伝統文化を修得したことによって、自分に自信が持てるようになり、何事にも意欲が生まれる（その他）
4. 親へのアンケートで「子どもの成長を感じた」が全体の80%とする	親の伝統文化等への関心が増すことにより、次世代を担う子供たちの伝統文化等の行事等への参加に繋がる（その他）
5. 行事への参加または地域住民へのお披露目（1回以上）	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、地域住民と挨拶ができたり、礼儀正しくなる。また、地域と関わりのなかった家庭が地域行事等に参加するようになる（その他）
6.	
7.	
8.	

<開催日程（予定）>

※教室／発表会・大会の内容・回数・日程（予定）・曜日・時間（開始時間～終了時間）を具体的に記入してください。
回数について、同じ内容の教室を反復して行う場合は、その実施回数を記入してください。

教室／発表会・大会の内容		回数	日程（予定）	曜日	時間
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
当事業の趣旨を理解し学校の授業にあたる時間帯（文化祭や運動会などの学校行事を含む）を利用して教室を開催することはありません。		実施回数	教室	回	合計
		発表会・大会	回	回	
☐ 上記確認しました （レチェックを入れてください）					

都道府県等による文化活動や支援事業等との連携状況

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

応募様式2-1
5 / 11

<事業計画書>

※申請（第2次審査）時に記載

応募（第1次審査）

・ 申請（第2次審査）

団体コード

- -

事業の名称

文部科学省の「放課後子供教室」と連携した取組

文部科学省の「放課後子供教室」を
担当している市区町村

担当部局名

連絡先

連携する「放課後子供教室」の活動名

※伝統文化親子教室名ではありません。

分 野

該当する分野を
全て○枠で囲い、
分野別に開催回数を
記入してください。

イ. 神楽	回	ロ. 獅子舞	回	ハ. お囃子	回	ニ. イ〜ハ以外 の民俗芸能	回
ホ. 祭り行事	回	ヘ. 民謡・民舞	回	ト. 和太鼓	回	チ. 能楽	回
リ. 邦楽	回	ヌ. 邦舞 ・ 日本舞踊	回	ル. 伝統工芸	回	ヲ. 百人一首 ・ カタ	回
ワ. 囲碁	回	カ. 将棋	回	コ. 華道	回	ク. 茶道	回
レ. 書道	回	ソ. 武道	回	ツ. 和装 ・ 礼法	回	ネ. 食文化 ・ 郷土料理	回
ナ. 上記以外 の分野	回						

内容を記載（ニ、ナを選んだ場合）

【

】

複数分野を選択した場
合、その付随・関連理
由

開催場所

教室

※施設名、地名等を具体的
に記入してください。

参加者

募集対象とするものを
全て○枠で囲ってくだ
さい。

幼稚園・保育園

小学校

1年

2年

3年

4年

5年

6年

中学校

1年

2年

3年

高等学校

1年

2年

3年

障害のある子供

募集する
子供の人数

全体で

人

※親等の保護者の人数は含めないでください。

参加者を複数グループに分けて教室を開催する場合は内訳を記載

【

人 ×

グループ

】

対象
事業に係る
地域性のある
伝統文化等
の概要

(1)

対象分野

名称

文化財指定の有無
※どちらかを○枠で囲ってください。

有

無

指定名

由来、歴史
(何時頃から行われているのか)

(2)

対象分野

名称

文化財指定の有無
※どちらかを○枠で囲ってください。

有

無

指定名

由来、歴史
(何時頃から行われているのか)

(3)

対象分野

名称

文化財指定の有無
※どちらかを○枠で囲ってください。

有

無

指定名

由来、歴史
(何時頃から行われているのか)

<事業目的>

※「放課後子供教室」の事業目的と一致する項目を全て○枠で囲ってください。

項目1〜5以外に目的がある場合は、項目6から順番に○枠で囲い、事業目的欄に簡潔に記入してください。

項目	事業目的
1. 伝統文化等の継承	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることを目的とする
2. 伝統文化等への関心	伝統文化等への関心を高めることを目的とする
3. 豊かな人間性の 涵養（かんよう）	子どもたちの豊かな心や感性、創造性をはぐくむことを目的とする
4. 伝統文化等への 親の関心	親の伝統文化等への関心を高めることで、子供たちの個性や能力の発見や、伝統文化を理解する機会の増加を目的とする
5. 周辺地域の関係	子どもたちが地域住民と関わることで地域とのつながりを強化することを目的とする
6. その他①	
7. その他②	

事業内容

＜事業の目標及び事業の見込まれる効果等＞
※事業の目標と見込まれる事業効果に一致する項目を全て○枠で囲ってください。○枠で囲った事業の目標において、その他に見込まれる事業効果がある場合は、（その他）欄に簡潔に記入してください。
項目1～5以外に、事業の目標と見込まれる事業効果がある場合は、項目6から順番に○枠で囲い、簡潔に記入してください。

事業の目標	見込まれる事業効果
1. 行事への参加または親へのお披露目（1回以上）	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、伝統文化等が後世に伝わることにつながる（その他）
2. 子供たちのアンケートで「伝統文化等に興味・関心をもつ」が全体の80%とする	身近に伝統文化等を感じることができ、日本文化に興味・関心をもつことにつながる（その他）
3. 一連の流れが理解できる日程の実施（5回かつ3日以上）	伝統文化を修得したことによって、自分に自信が持てるようになり、何事にも意欲が生まれる（その他）
4. 親へのアンケートで「子どもの成長を感じた」が全体の80%とする	親の伝統文化等への関心が増すことにより、次世代を担う子供たちの伝統文化等の行事等への参加につながる（その他）
5. 行事への参加または地域住民へのお披露目（1回以上）	地域に伝わる伝統文化等の活動に参加することで、地域住民と挨拶ができたり、礼儀正しくなる。また、地域と関わりのなかった家庭が地域行事等に参加するようになる（その他）
6.	
7.	
8.	

＜開催日程（予定）＞
※「放課後子供教室」の内容・回数・日程（予定）・曜日・時間（開始時間～終了時間）を具体的に記入してください。
回数について、同じ内容を反復して行う場合は、その実施回数を記入してください。

「放課後子供教室」の内容		回数	日程（予定）	曜日	時間（※1）
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]
		回			[始] [終]

実施回数
合計 回 ※1 学校の授業にあたる時間帯等（文化祭や運動会などの学校行事を含む）を利用して「放課後子供教室」を開催することはできません。

都道府県等による文化活動や支援事業等との連携状況

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

※申請（第2次審査）時に記載

<収支予算書>

応募（第1次審査）・申請（第2次審査）団体コード - -

	区分	金額 (予定を含む。)	内訳
収入の部	本事業以外の支援金・助成金	円	
	その他収入	円	
	自己負担金	円	
	小計（A）	円	
	本事業による委託経費の要望額（B） 【（Ⅱ）－（A）】	円	
	収入合計（Ⅰ） 【（A）＋（B）】	円	

	区分	事業の総経費の配分 (予定を含む。)	委託経費の要望額
支出の部	主たる事業費 (下記の「①」＋「②」)	円	円
	① 伝統文化親子教室	円	円
	② 「放課後子供教室」と連携した取組	円	円
	事務費 (下記の「③」＋「④」)	円	円
	③ 伝統文化親子教室	円	円
	④ 「放課後子供教室」と連携した取組	円	円
	支出合計（Ⅱ） 【「主たる事業費」＋「事務費」】	円	円

※委託経費の合計金額は千円単位としてください
(百円単位以下の端数は不可)

応募団体（事業者）の概要

※申請（第2次審査）時に記載

応募（第1次審査）・申請（第2次審査）団体コード - -

(ふりがな) 団体名称 提案書（様式1）及び 団体規約の「団体名」と同一 となるよう記入してください。						
団体区分 該当する団体区分を○枠で 囲ってください。	一般社団・財団法人		公益社団・財団法人			
	特定非営利活動法人		任意団体			
団体設立年月						
組織 代表者、会計者、監事は 役員名簿と整合させて 必ず記入してください。 会計者と監事は兼務でき ませんが、それ以外は 兼務でも構いません。	代 表 者 氏 名 :					
	会 計 者 氏 名 :					
	監 事 氏 名 :					
	債務責任者氏名 :					
	その他構成員 : 名					
団体への加入条件						
設置目的						
令和4年度～ 令和6年度における 伝統文化親子教室事業への 応募状況と実績	年度	応募実績 有無	団体コード	支援金（確定額）	取下げ ／中止	不合格
	令和4年度		— —	円		
	令和5年度		— —	円		
	令和6年度		— —	円		
	【令和6年度の活動内容】 ※実績がある場合は、令和6年度の活動内容を記入してください。					

※ 定款・規約等及び役員名簿（規約に記載されている役員全員が記載されているもの）を併せて提出すること。

※申請（第2次審査）時に記載

応募（第1次審査）・申請（第2次審査） 団体コード --

統括表

【重要】
※複数の団体で構成する実行委員会のみ作成、提出してください。
※都道府県名・市区町村名・団体名・事業の名称・収支予算書（様式3）の内容について、構成する全ての団体を、1団体ごとに記入してください。

※ 実行委員会名を記入してください。

実行委員会名

通し 番号	都道府県 名	市区町村 名	団体コード	団体名	事業の名称	各構成団体の『(様式3)収支予算書』の内容を記載												
						収入の部					収入合計 (Ⅰ) 【(A)+(B)】	支出の部						支出合計 (Ⅱ) 【「主たる事業費」 ＋ 「事務費」】
						本事業以外の 支援金・助成金	その他 収入	自己 負担金	小計 (A)	本事業による 委託経費の要望額 (B) 【(Ⅱ)－(A)】		主たる事業費 (下記の「①」+「②」)			事務費 (下記の「③」+「④」)			
													① 伝統文化 親子教室	② 「放課後子供 教室」と連携し た取組		③ 伝統文化 親子教室	④ 「放課後子供 教室」と連携し た取組	
1			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
2			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
3			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
4			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
5			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
6			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
7			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
8			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
9			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
10			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
11			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
12			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
13			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
14			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
15			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
16			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
17			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
18			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
19			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
20			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
21			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

統括表

【重要】
※複数の団体で構成する実行委員会のみ作成、提出してください。
※都道府県名・市区町村名・団体名・事業の名称・収支予算書(様式3)の内容について、構成する全ての団体を、1団体ごとに記入してください。

※申請(第2次審査)時に記載
応募(第1次審査)・申請(第2次審査) 団体コード □□-□□□-□□□

※ 実行委員会名を記入してください。

実行委員会名

通し 番号	都道府県 名	市区町村 名	団体コード	団体名	事業の名称	各構成団体の『(様式3)収支予算書』の内容を記載												
						収入の部					収入合計 (Ⅰ) [(A)+(B)]	支出の部						支出合計 (Ⅱ) 【「主たる事業費」 + 「事務費」】
						本事業以外の 支援金・助成金	その他 収入	自己 負担金	小計 (A)	本事業による 委託経費の要望額 (B) [(Ⅱ)−(A)]		主たる事業費 (下記の「①」+「②」)			事務費 (下記の「③」+「④」)	③ 伝統文化 親子教室	④ 「放課後子供 教室」と連携し た取組	
												① 伝統文化 親子教室	② 「放課後子供 教室」と連携し た取組					
22			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
23			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
24			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
25			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
26			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
27			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
28			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
29			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
30			- -			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
代表団体は団体所在地の、構成団体は開催場所の市区町村名をそれぞれ記入してください。					合 計	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

※ スペースが足りない場合は、 行の幅を変更したり、 ページを追加しても差し支えありません。